



Nゲージ（鉄道模型）の展示



釜石市郷土資料館「釜石線開通70周年記念展」は12月20日まで開催しています

釜石線全線開通70周年記念イベント

10月10日【JR釜石駅他】

昭和25（1950）年10月10日、国鉄釜石線が全線開通しました。全線開通70周年を記念し、JR東日本では「リゾートあすなろ」車両を使用した記念号を運行。釜石市郷土資料館では企画展を開催した他、シープラザ釜石でも釜石鉄道140年写真・パネル展やNゲージ（鉄道模型）の展示が開催されました。



山林の残材の処理や、津波災害の緊急避難場所などさまざまな質問が出されました（10月13日 釜石・大槌地域産業育成センター）

「令和元年度台風災害検証結果」および「日本海溝沿い最大クラスの津波による浸水想定」住民説明会

10月5日～15日【中妻体育館他、市内6カ所】

市は、令和元年度台風災害の検証を進めてきた7地区で住民説明会を開催しました。検証結果では、短時間に降雨が集中し山林の土砂や枯れ枝などが流出したため、水路能力が発揮できなかったことを被害の要因の一つとして挙げ、ハード整備の検討について言及しました。津波浸水想定では、堤防などが破堤しない場合と破堤した場合のシミュレーション結果を提示。あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波を検討し、避難を軸に総合的な津波対策をしていく必要性を説明しました。



ロープの上を歩いたり跳ねて楽しむスラックライン

森のようちえん2020

10月18日【福祉の森】

森の中で親子が自由に遊ぶイベントが開催されました。会場にはハンモックやスラックライン、たき火といった自然の中の遊びがたくさん用意され、紅葉の森の中に子どもたちのはしゃぐにぎやかな声がこだましました。楽しく遊んだ後は、たき火で作った焼き芋が振る舞われました。

講師の深澤鮎美さん（自然あそび広場にここ代表）は「子どもが楽しいだけでなく、大人が楽しんでいるところを見せることも大切」と話しました。



「まて」の合図でじっと我慢するペットたち

ペットとの同行避難訓練

10月24日【釜石地区合同庁舎駐車場】

災害時にペットとともに避難し、避難所で人と動物が安全に過ごすための訓練が行われました。飼い主と15匹のペットが参加し、持ち物点検、クレーン（持ち運びできるペット小屋）で過ごす訓練、「おすわり、おいで」などのトレーニングを実施しました。講師の大和田真喜さん（人と動物の絆momo太郎）は、クレーンが安全な場所だとペット自身が思えるよう、日頃から入れることを意識するようにと助言しました。

意見交換では「同行避難できる避難所の確保が重要」「ペットだけで留守番をしているとき、見守りをする方法はないか」などの意見がありました。



観衆の間近で披露された平田虎舞

地域交流会

10月25日【県営平田災害公営住宅、平田地区生活応援センター】

平田町内会、災害公営住宅自治会らで立ち上げた実行委員会が、県の郷土芸能を通じた被災地コミュニティ形成支援事業を活用して開催。空手の演舞や平田神楽、平田虎舞が披露された他、お楽しみ抽選会や餅まきも行われ、子どもから高齢者まで楽しいひと時を過ごしました。近所に住む女性「はやしを聞くと心が若くなる。多くの人で郷土芸能を見ることができて良かった」と笑みを浮かべ、地域の人々との交流を楽しみました。

いわて・かまいしラグビーメモリアルイベント



昨年開催されたラグビーワールドカップ2019™岩手・釜石開催の1周年を記念して、釜石鵜住居復興スタジアムおよび釜石市民ホールTETTOでメモリアルイベントが開催されました。

第46回釜石健康マラソン大会

10月10日【釜石鵜住居復興スタジアムと周辺のコース】

例年、市球技場で開催してきた健康マラソンを本年度は会場を変更して実施。参加した約500人のランナーは、ワールドカップが開催された会場で走る喜びと昨年度までとは違う自然の風景を楽しみながら新しいコースを駆け抜けました。幼児の部とリレーの部はスタジアム内のグラウンドコースで行われ、参加者は青々とした芝生の上を気持ちよさそうに走りしました。



元気にスタートする小学生低学年の部とふれあい・親子の部の参加者

メモリアルマッチ 釜石シーウェイブスRFC対クボタスピアーズ

10月10日【釜石鵜住居復興スタジアム】

クボタスピアーズは東日本大震災後の2011年7月にボランティア活動や交流試合で釜石を訪れ、市民に勇気と希望を届けてくれたチームです。

試合は開始早々からクボタがトップリーグの力強い攻撃を見せ0-40で前半を折り返しました。後半は開始早々に釜石がトライを上げ、スタンドには大漁旗が舞い大きな盛り上がりを見せました。しかし、クボタも攻撃を緩めることなく12-73でノーサイドとなりました。



2,271人の観衆は最後まで両チームに温かい声援を送りました

いわて・かまいしラグビーファンゾーン

10月9日～10日【釜石市民ホールTETTO】

会場には昨年の大会を振り返るパネルや記念品が展示された他、メモリアルマッチのパブリックビューイングや昨年のワールドカップに出場した選手のトークショーが行われました。トークショーに参加したクボタスピアーズの選手は「釜石にはラグビーの文化が根付いている」「ラグビーが持つ力を活用して、市民が一丸となり元気な姿を発信して欲しい」とエールを送りました。



ファンゾーンには、2日間で約1,200人が来場しました

証明書コンビニ交付サービス開始式

10月1日【セブン-イレブン 釜石中妻町1丁目店】

マイナンバーカードを利用して、コンビニエンスストアで各種証明書が取得できる「コンビニ交付サービス」が10月1日から始まりました。県内では11番目の実施。これにより、住民票の写しなどが年末年始を除く毎日6時30分～23時（注）に、全国のコンビニエンスストアなどで取得できるようになり、行政サービスの利便性が高まりました。市は、利用に必要なマイナンバーカードの取得を引き続き呼び掛けています。

（注）戸籍証明などの取得可能時間は、月～金曜日8時30分～17時15分（祝日、年末年始を除く）



マルチコピー機で手続きする野田市長



ハロウィン用の大きなカボチャも販売され、広場を彩りました

かまいし軽トラ市

10月3日【うのすまい・トモス】

地産地消の推進や、農産物の販売機会の創出を目的に、農産物の直売イベントが行われました。市内で収穫された農産物の他、お菓子や漬物、ワインなど多様な商品に多くの人が足を止め、おいしい食べ方や製法のこだわりなどを話題に、生産者とお客さんが交流する様子も見られました。橋野町の藤原セツさんは「一人で農業をするのはなかなか大変だが、やれる限り続けていきたい。稲刈りのシーズンなので次回は新米を出品したい」と意気込みました。